

# 1%の向こうに見える ま・ち・づ・く・り

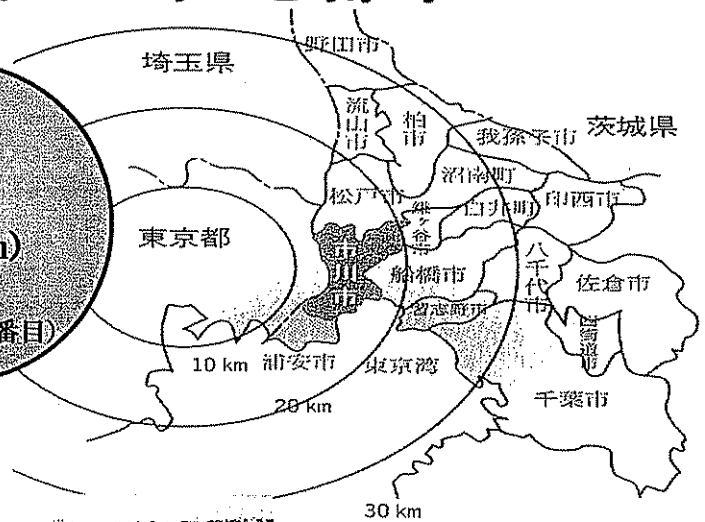
## 市民が選ぶ市民活動団体支援制度の経緯と展望



1 市川市長 千葉 光行

## 東京に隣接する住宅都市

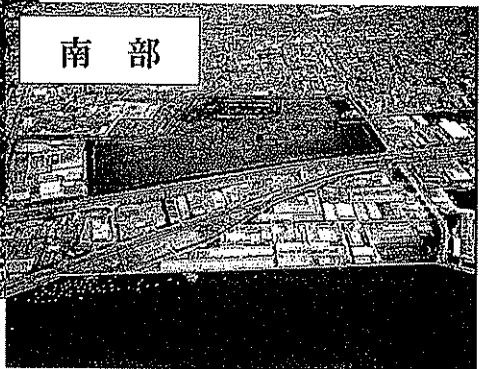
- ・人口：47万0017人  
(平成19年7月1日現在)
- ・面積：56.39 km<sup>2</sup>  
(東西8Km 南北13Km)
- ・人口密度：8335人/km<sup>2</sup>  
(1807市町村中30番目)



北部



中部

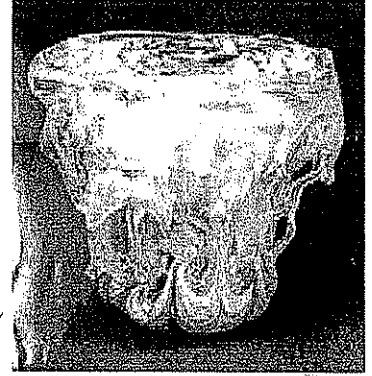


南部

# 歴史と文化のまち

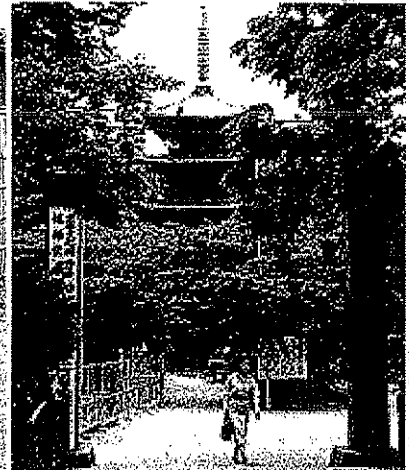
## 国宝・重要文化財・史跡

- 美濃輪台遺跡・曾谷貝塚・姥山貝塚
- 下総国分寺跡・下総国分尼寺跡
- 中山法華経寺（立正安国論）



## 文化勲章受章者

- 日本画家 東山魁夷氏
- ガラス工芸家 藤田喬平氏
- 小説家 永井荷風氏
- 漆工芸家 佐治賢使氏

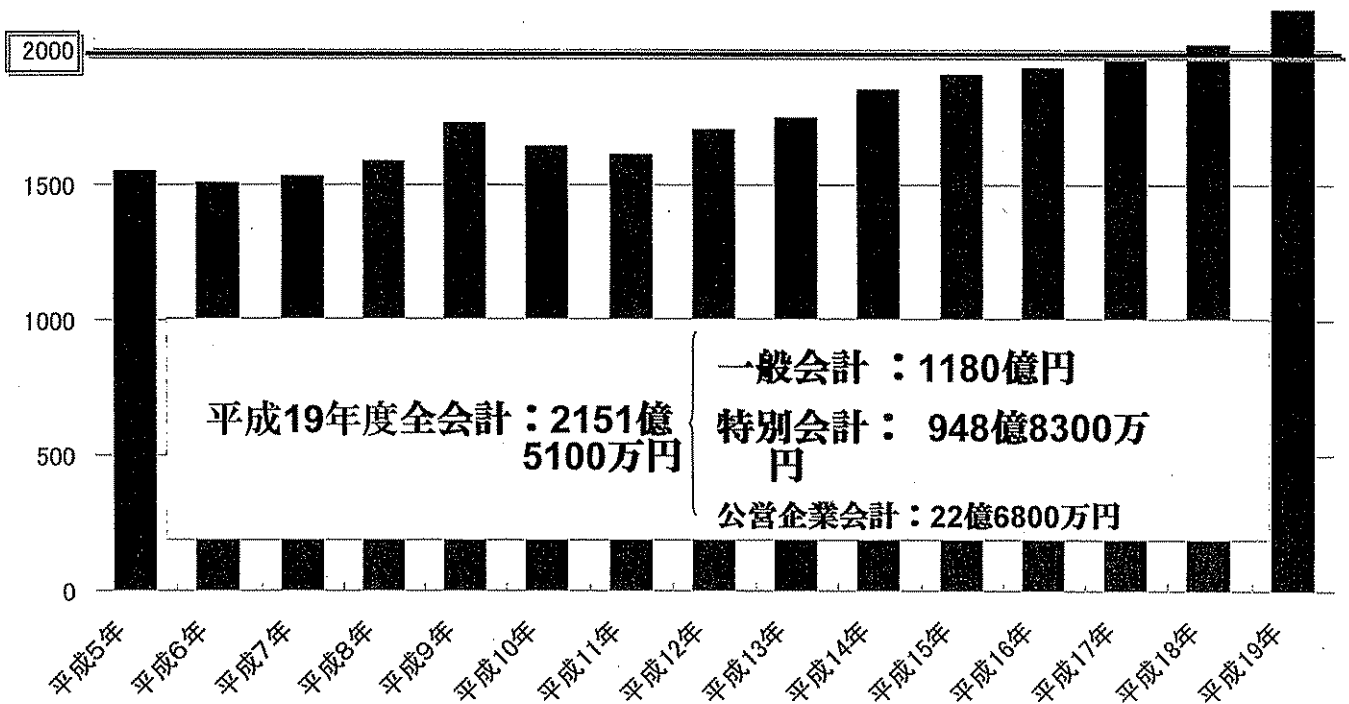


東山魁夷作「夏に入る」

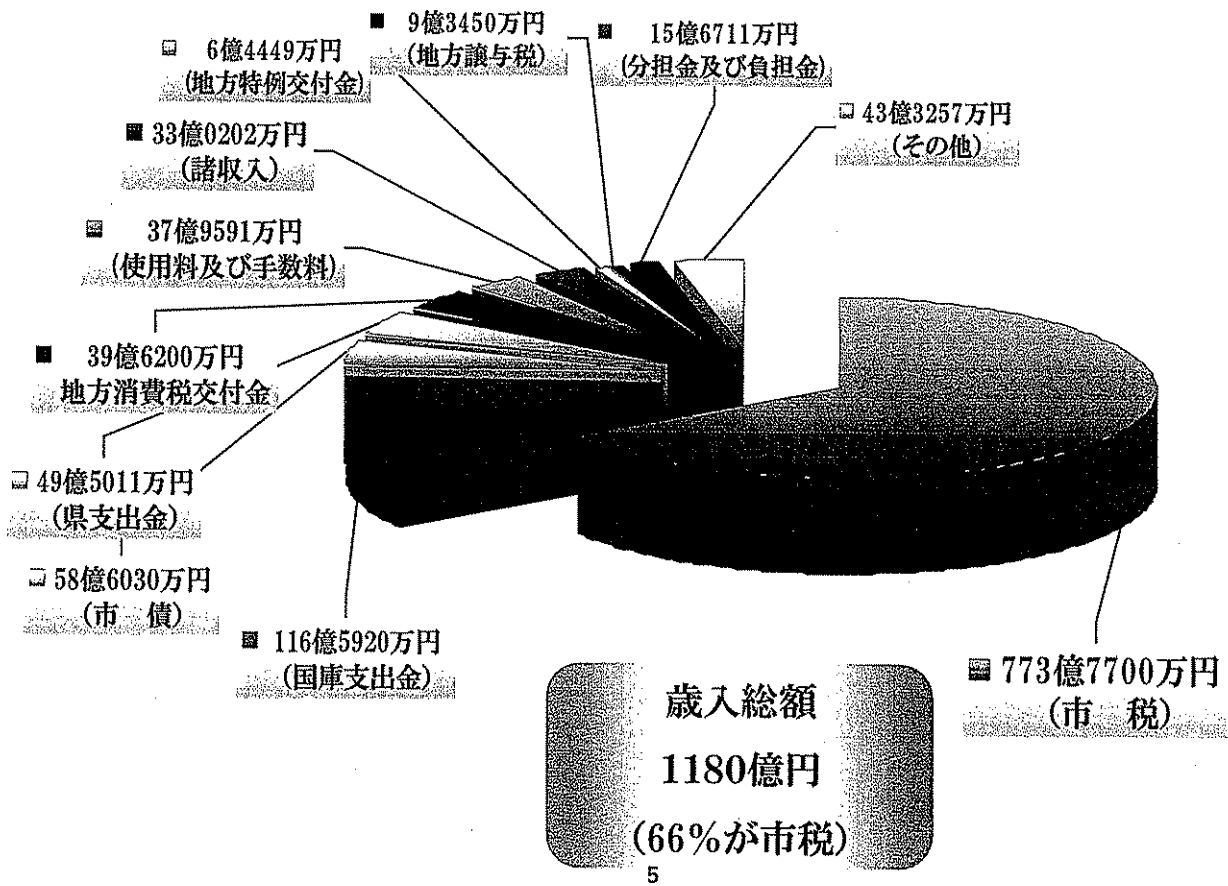
## 市川市の予算額（全会計）の推移

(億円)

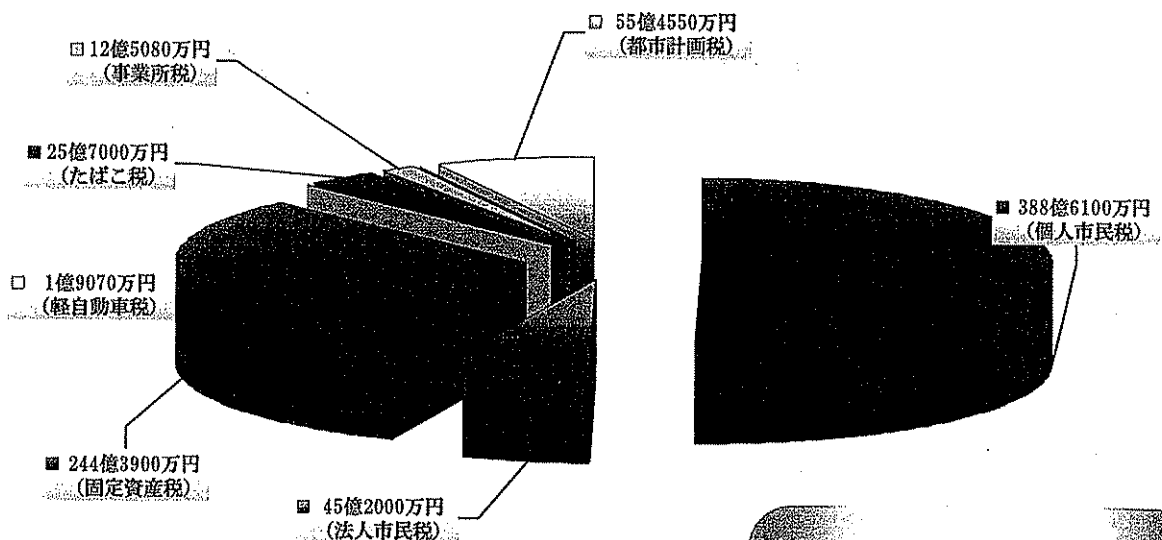
2500 -



# 平成19年度 一般会計当初予算額の歳入内訳



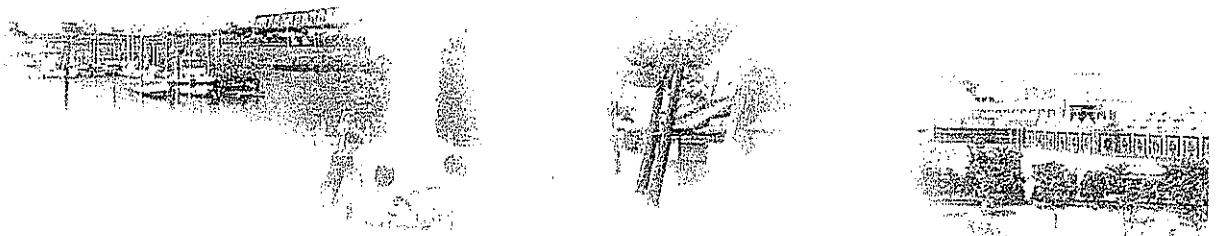
# 平成19年度の市税内訳



※納税義務者の80%を給与所得者が占めている

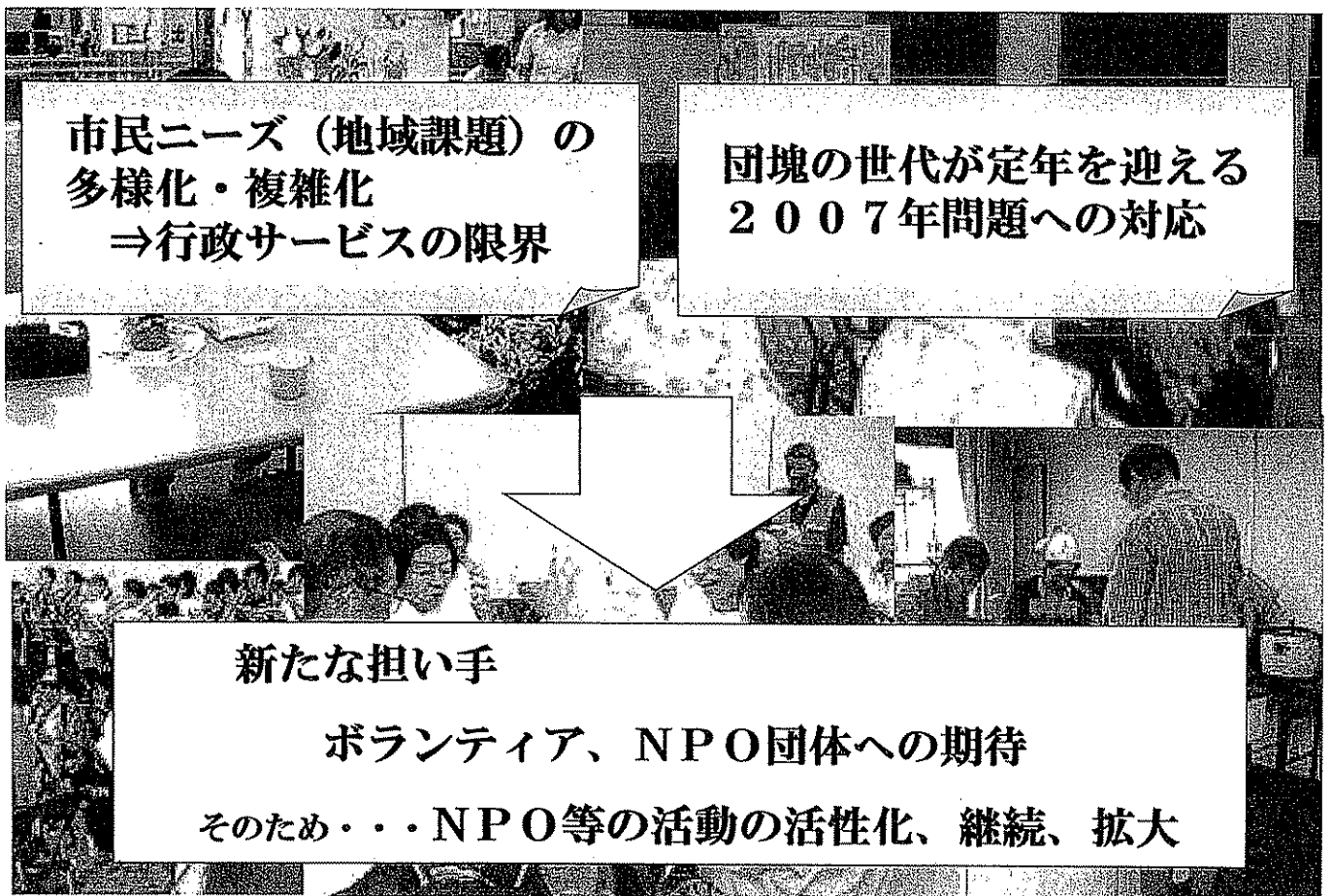
# 1% 支援制度

～市民活動団体支援制度～



7

## 1% 支援制度創設の背景



地域の視点で考える

# 市川市の顔 「地域の市民活動」

## 背景

市民の目線に  
立った行政を

地域  
高い市民意識

平成11年4月  
3部18課を削減するなかで  
「ボランティア支援課」  
新設

地域の視点で考える

## 「ボランティア支援課」

H11年度「ボランティア・市民活動推進懇話会」

ボランティア・  
市民活動関係者

公募市民

H12年度「ボランティア・市民活動推進検討委員会」

「まちの縁側」構想の提案

活動推進のための拠点や仕組みを整備する取組全体

ボランティア・NPO活動センター



## ニーズは現場で 生まれている

### 夏休みの体験ボランティア

平成13年度からはじまり今年で7年目。  
昨年は80のメニューに1038名が参加



### 活動メニュー（平成19年度）

#### 市役所部門（17メニュー）

幼稚園・保育園・福祉施設・キャンプなど

#### ボランティア・NPO団体などの民間団体部門（53メニュー）

障害者とのキャンプ・高齢者とのふれあい活動・子どもの保育・慰問活動など

11

## ソバの花畑の草取りボランティア（団体例）



小川再生親子ふれあい農園のソバの花畑の手入れ(草取りなど)や田んぼ周辺の草取り

12

## 特別養護老人ホームの喫茶室ボランティア（団体例）



特別養護老人ホームの喫茶室で、テーブルのセッティング、ウエイトレス、洗い場、その他簡単な介助を行う。

13

## NPO団体での乳幼児の保育ボランティア（団体例）



乳幼児の保育及びそれに付随する業務

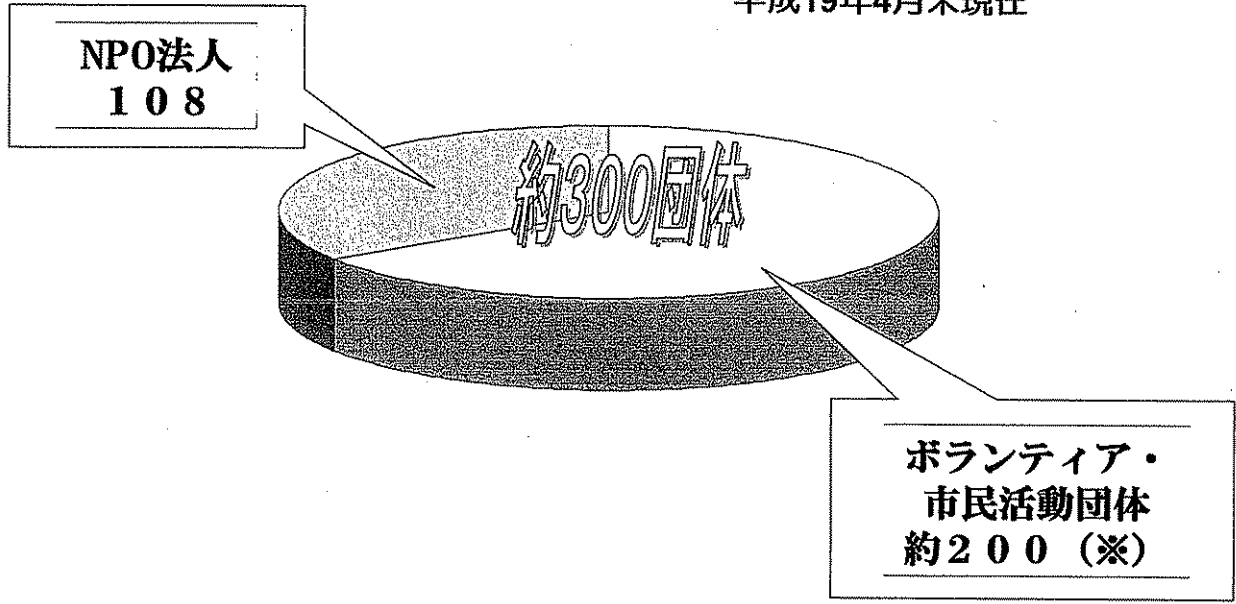
14

## 地域の視点で考える

### 市民活動のパワーを高める

#### 市が把握している市内の団体数

平成19年4月末現在



※登録制ではないため把握している数は流動的な概数

#### 「1%支援制度」の構想がまとまるまで

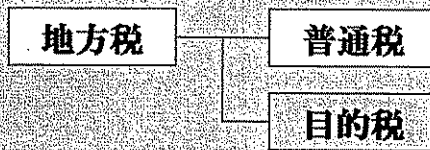
#### 制度のテーマ

- ① ボランティア、NPOなど市民活動団体をどう育成するか？
- ② 市民と市民活動団体を、どう結びつけるか？
- ③ 市民活動への理解を、どう深めるか？



## 「1%支援制度」の構想がまとまるまで

税金の使い道は納税者が決める ⇒ 現行の法律上無理

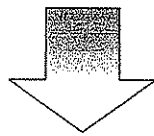


市民税は普通税で、用途がきめられていない。

歳入、歳出の予算に計上

→ **議会の議決が原則**

予算の編成権は首長（地方自治法）



市が歳入として受け入れたものを補助金として支出

17

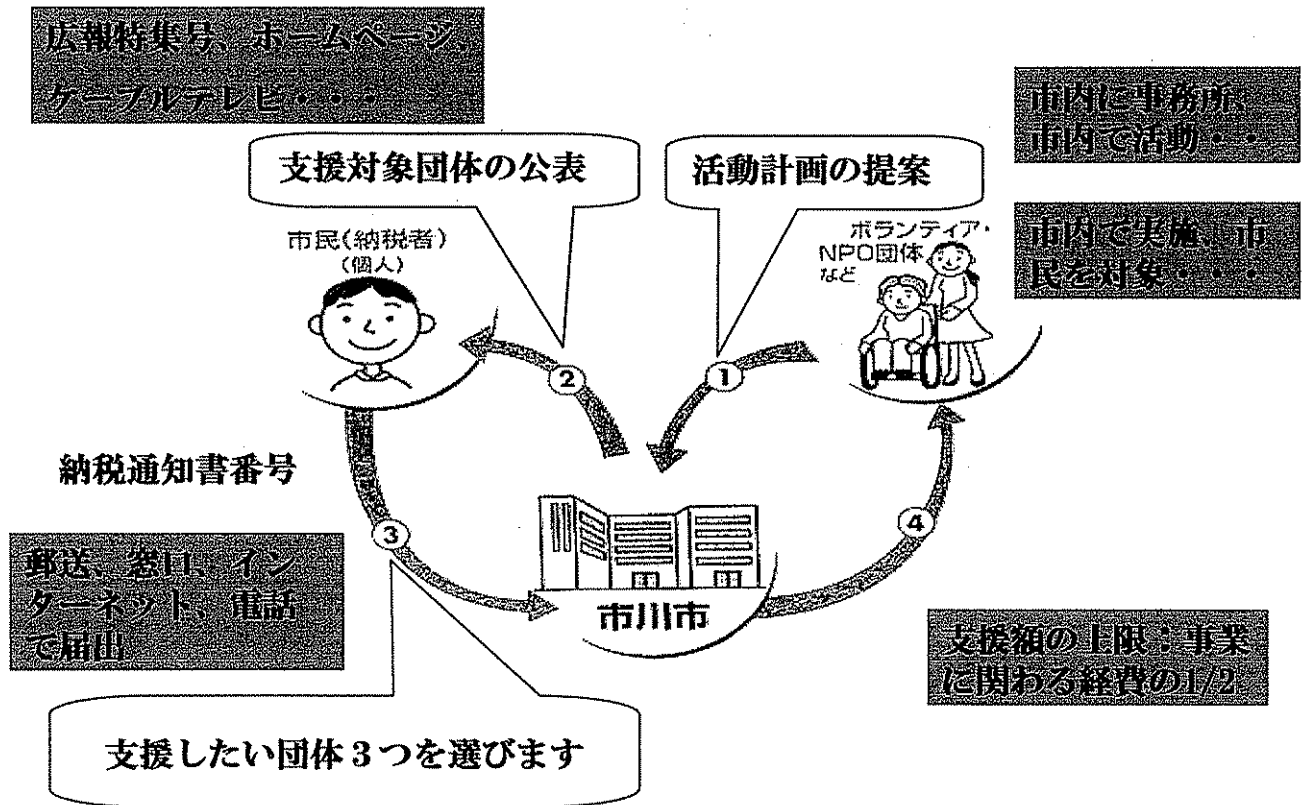
## 「1%支援制度」の構想がまとまるまで

### 制度化に「三原則」

- 事務費がかかりすぎないこと  
→ その分、支援にまわそう
- 正確であること  
→ 不正が行われないような仕組み
- 簡便性  
→ 市民が容易に参加できること

18

# 1%支援制度のあらまし①



19

## 対象となる団体

1. 市内に事務所を有し、市内で活動している
2. 会則、規約、定款等を有している
3. 申請時に1事業年度以上継続的に活動している
4. 法令、条例等に違反する活動をしていない
5. 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない
6. 宗教的活動又は政治的活動をしていない

## 対象となる事業

1. 市内で実施すること
2. 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野のもの
3. 営利を目的としないこと
4. 市民を主たる対象とすること
5. 構成員（会員）のみを対象としないこと
6. 市から別の補助金等の交付を受けていないこと

21

## 対象となる経費・支援金額

### 対象経費

あくまで事業遂行のために直接要する経費  
団体の維持、運営等に要する経費は対象外とする

### 支援金額

団体を選択した納税者の個人市民税の1パーセント  
に相当する額を合計した額

申請に基づき、支援希望事業費の1/2を限度とする

22

# 1%支援制度のあらまし②

## 申請書類

- ・ 交付申請書
- ・ 団体概要調書
- ・ 事業計画・事業収支予算
- ・ 団体の規約、会則の写し
- ・ 団体の事業報告書、収支決算書の写し

提出

## 審査会

### 支援対象団体の決定 事業実績の公表 事業実績の審査・評価

23



あなたが選んだ市民活動団体を  
あなたの税の1%でサポート  
市民活動団体支援制度

#### ■ 申請結果 (平成19年度 受付期間 1/22~2/9)

	H19	H18	H17
応募団体数	85団体 (85団体全て支援対象 団体)	99団体 (うち支援対象団体98) その後取下げ2団体	83団体 (うち支援対象団体81)
事業費総額	47,250,530 円	71,715,370 円	67,399,471 円
交付申請額	19,944,720 円	25,708,000 円	29,245,170 円

(交付申請額)

	H19	H18	H17
最 高	2,000,000 円	1,500,000 円	4,000,000 円
最 低	20,000 円	20,000 円	15,000 円
平 均	234,643 円	259,676 円	352,351 円

平成19年度 (減少理由)

- 今年度までの支援に必要な備品が揃い、自力で事業できる
- 各団体とも実現性の高い事業を申請してきた 等

24

# 市民(納税者)が選ぶ「市民活動団体支援制度」

あなたの気持ちを市民活動へ!

## ■ 届出結果 (平成19年度 届出期間 4/28~5/31)

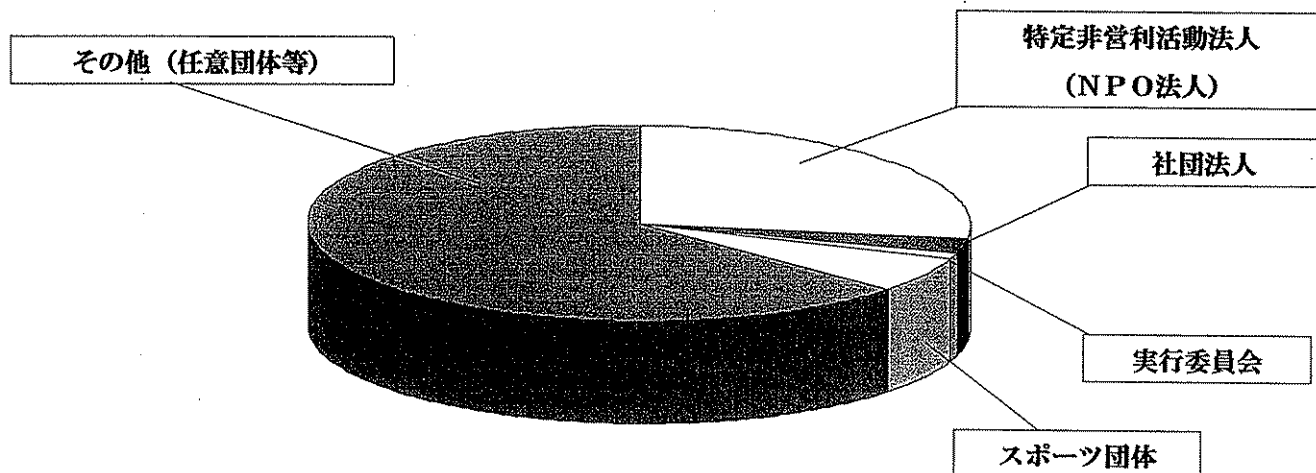
	H19	H18	H17
届出総数(有効)	5,633人(5,136人)	6,996人(6,344人)	6,266人(5,557人)
団体選択	4,744人 9,936,161円	5,896人 11,948,480円	5,049人 11,244,952円
基金積立選択	392人 3,991,709円	448人 3,242,305円	508人 2,174,008円
参加率	2.49%	3.12%	2.83%

交付決定額の合計 13,927,870円 (85団体に)

団体選択金額 9,936,161円 との差額 (3,991,709円) は基金へ積み立て

## 平成19年度 応募団体の内訳

	H19	H18	H17
特定非営利活動法人 (NPO法人)	23	27	26
社団法人	2	2	2
実行委員会	1	3	3
スポーツ団体	5	7	5
その他 (任意団体等)	54	60	47
合計	85	99	83



# 知的障害児のための水泳療育

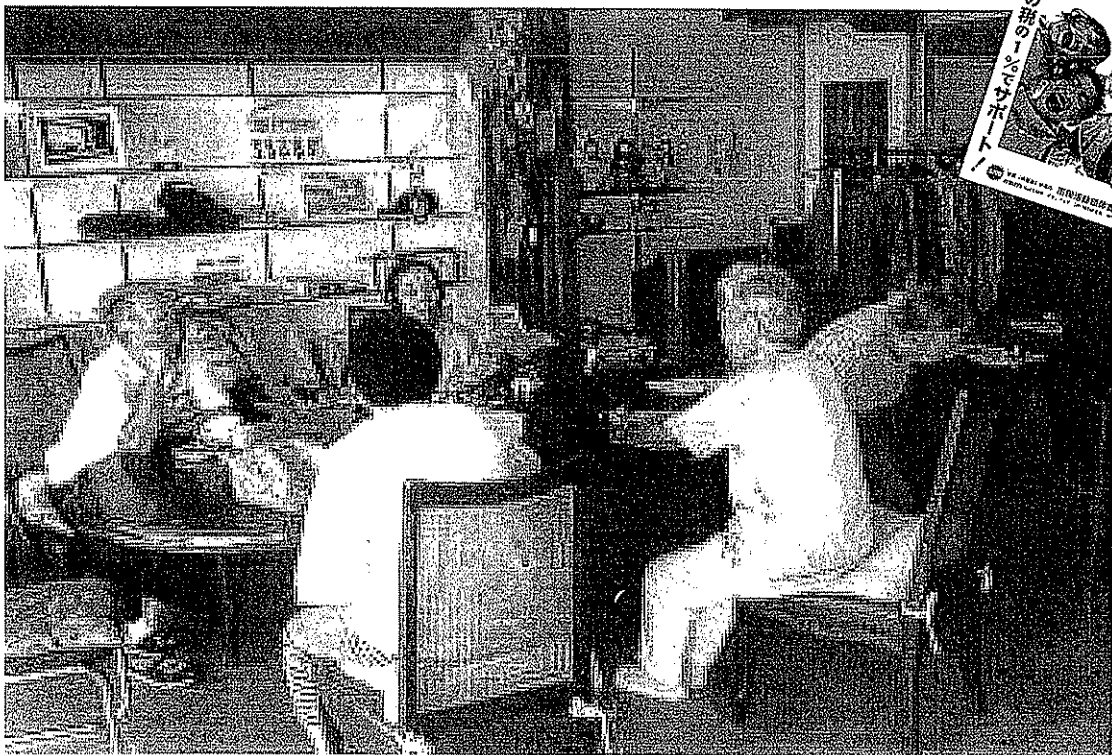
団体例



保健・医療・福祉の増進

# 地域で支え合うサロン事業

団体例



保健・医療・福祉の増進

# ウォーキングで健康に

団体例



学術・文化・芸術・スポーツの振興

29

## 検討すべき課題

- ① 納税者以外の方の参加
- ② 届出方法の簡素化
- ③ 制度PRの強化
- ④ 届出窓口の拡大・多様化

多くの市民の参加

平成19年度バージョンアップ

①地域ポイント制度の新設

(合計42,131ポイント)

② 1 団体から 3 団体に

1 団体を 選択 約 6 7 %

2 団体 約 1 3 %

3 団体 約 2 0 %

③ 交付申請内容の変更は、申請後の減額及び申請の取り下げのみ認められる

31

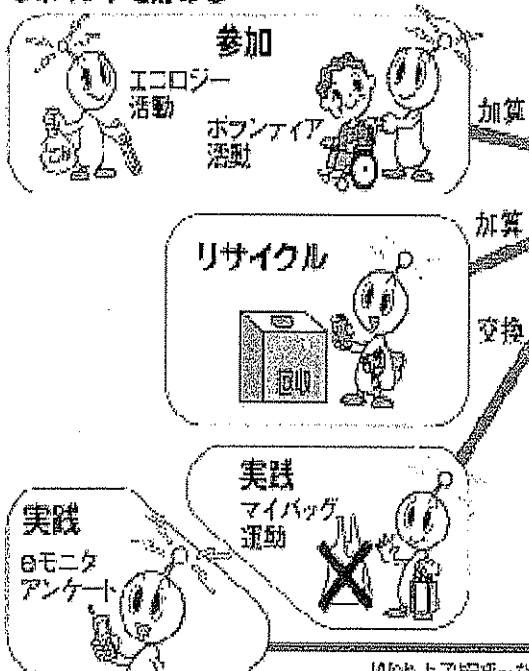
幅広い市民の参加

地域ポイント制度

いすかわエコポカード



●ポイントを貯める



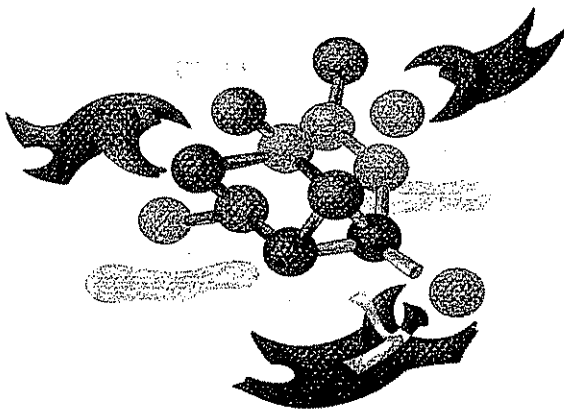
●ポイントを使う





# 1%の向こうに見える ま・ち・づ・く・り

- ① NPO支援で地域復活
- ② 市民参加の向上
- ③ 協働によるまちづくりの推進



33



ご清聴ありがとうございました。



34